

逗子の景観まちづくり

瓦版 第四十二号

平成二十七年七月十五日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

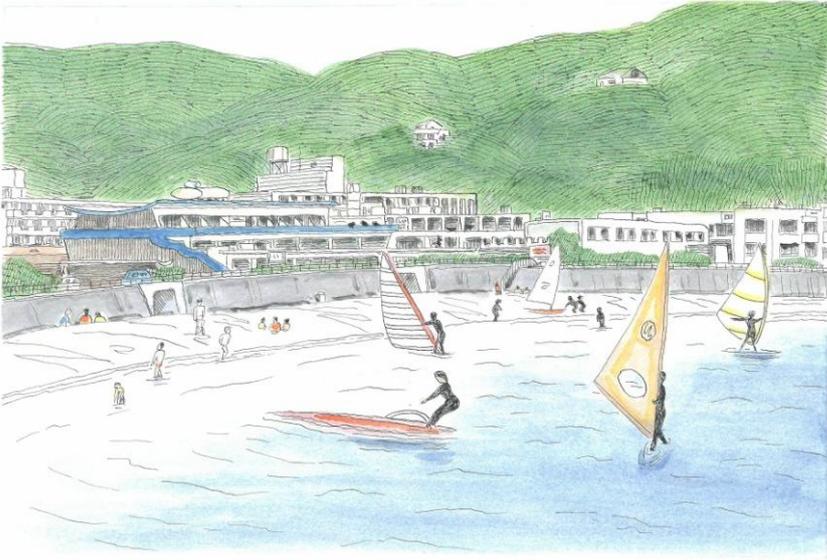
電話 〇四六・八七三・一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「ゴミの持ち帰りで美しい景観を」

路線バスが静かに止まって、「さあどうぞ」と横断歩道の私に道を譲った。住処を求めて見知らぬ町にやって来た私はその瞬間、「逗子に住もう」と決めた。15年前のことだ。当時



逗子海岸

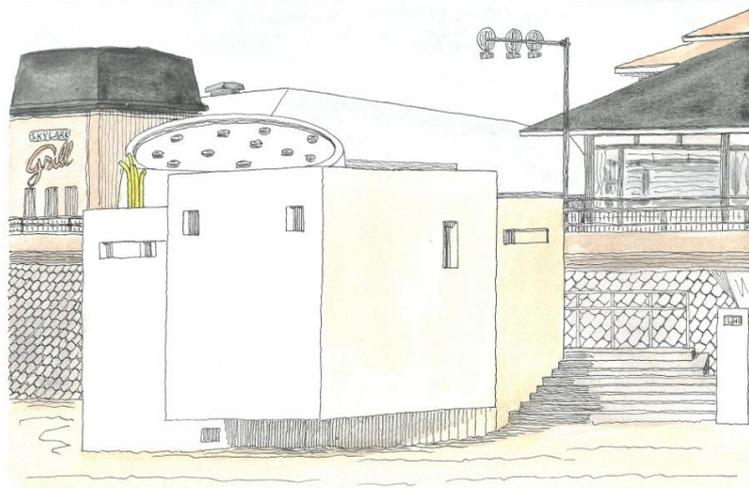
「逗子海岸」 絵 竹林 久知

の逗子は、8時を過ぎればまちは眠り、花火大会はポーン、ポーンと休み休み打ちあがって、「え、いつ終わったの？」と辺りを見回してしまふほど、海にはもちろんゴミなどなく、静かな余韻を残して瞬く間にセレモニーは終わるのであった。

時代は変わって、45分の内に7千発が咲く逗子の花火は全国的にも有名になった。15年前にはほぼ住民しかいなかったであろう観客が今や10万人。それほど多くの人に愛されている花火は誇らしい気もするけれど、海に残された夥おびただしいゴミが恨めしい。

海開きを迎えて、多くの海水浴客が集まれば、そのゴミも毎年恒例の問題になる。「景観」についてと思うとき、まずは風光明媚な場所を思い描くけれど、『ゴミのない美しい場所』こそが全ての景観の基本のように思う。

尾瀬から始まった「ごみの持ち帰り運動」、30円でゴミを引き取る北海道厚真町など、ゴミ問題は多くの自治体共通の課題。三浦半島の玄関口となる逗子には、「山も海もあるがゴミはない」、そんな景観を追及してほしい。ビー



逗子海岸のトイレ

「逗子海岸のトイレ」 絵 竹林 久知

チクリーン等のボランティアでは追いつかない窮状を説明して、観光客の皆さんに協力を仰いだって良いのでは？

住んでいる人も訪ねた人も、同じく玄関で靴を揃えることで、お互い心地よく暮らせるように。

しまね たくみ

逗子の景観を考える vol.11

----- 市民の手によってきれいになっている景観 -----

逗子のまちなみは建物、山や川などの自然からできていますが、それぞれの要素は、道や公園などの公共スペースなどによってつながっています。私たちが身近に親しむその場所は、たくさんの市民ボランティアの手によって、誰もが気持ち良く使えるようにきれいに保たれています。

バス停そばの花壇で心にゆとりを @小坪のバス停等

地域の方々がはじめはポイ捨てで荒れた場所を見かねてごみ拾いから始めたバス停。花壇の手入れへ発展したことで今は花の絶えないバス停に。今ではバスを待ったり、散歩したり、学校へ向かう子どもたちを生き活きとしたきれいな花が見送っています。



みんなの公園をきれいに @披露山公園等

逗子市には公園が随所にあり、普段私たちが親しむ公園もボランティアグループによってきれいに保たれています。



逗子をきれいにするには、まずは足元から @葉桜団地への道のり等

「荒れている所をきれいにすることからまちづくりが始まる」というメッセージが活動の源。木が覆い雑草も生い茂る暗い道は、通りやすくきれいに整備され、人々から親しまれています。



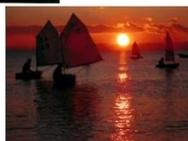
私の逗子の歩き方 ~夕暮れ時のリラックス景観~

逗子は海岸が西に面している夕暮れのまち。夕暮れ時に、海に向かって歩けば、美しい夕焼け空に心がほっと落ち着きます。



葉桜団地からは逗子湾の先に富士山が浮かぶ

夕日が落ちる逗子海岸



逗子マリーナが煌めく大崎公園

逗子マリーナのヤシと夕焼けのエキゾチックな景色



瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課

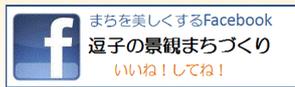
電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520

Mail：machi@city.zushi.kanagawa.jp

逗子の景観まちづくり

検索

クリック！



瓦版に掲載する
逗子の景観コラム、
イラスト募集中！！



☆瓦版のバックナンバーは逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。逗子市HP、逗子の景観まちづくりフェイスブックにもアップしていますのでご覧ください。